

# 高原町地震ハザードマップ

～災害に強いまちづくり～

保存版



平成 29 年 3 月



高原町

# はじめに



## 高原町地震ハザードマップ目次

はじめに .....	1
地震の時の行動マニュアル .....	2
液状化について .....	3
火災・住宅用火災警報器について .....	4
土砂災害について .....	5
非常用持ち出し品について .....	6
自主防災組織について .....	7
避難情報・特別警報について .....	8
防災対策(地震への備え) .....	9
避難所・避難場所一覧 .....	10
高原町地震ハザードマップ .....	11~12
高原小学校区地震ハザードマップ .....	13~14
中心部拡大地震ハザードマップ .....	15~16
広原小学校区地震ハザードマップ .....	17~18
狭野小学校区地震ハザードマップ .....	19~20
後川内小学校区地震ハザードマップ .....	21~22

## 地震ハザードマップについて

平成23年3月11日発生した東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）は過去に例を見ない甚大な津波被害をもたらしました。また、熊本地震では長引く地震動により、今までにない災害となりました。

このハザードマップは、南海トラフ地震による震度予測分布図、液状化危険度予測分布図を示すもので、宮崎県が平成25年10月に公表した地震被害想定調査をもとに作成しています。

想定される災害を事前に知り、一人ひとりが災害について日頃より考え準備していただくことが、いざというときに人命を守り、防災・減災への第一歩となります。

# 地震の時の行動マニュアル

## グラッ地震発生

最初の激しい揺れは約1分程度

1. まず、身を守る  
クッションや座布団などであたまを保護。机やテーブルの下、トイレやお風呂場など、出来るだけ安全な部屋へ。



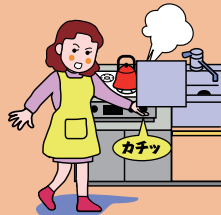
2. 非常出口の確保  
玄関、窓を開けて逃げ口を確保。倒壊の危険を感じたら屋外へ。



## 3分

揺れが収まった  
ら火のしまつ

1. 落ち着いて火のしまつ  
ガスやストーブの火を消し、電気器具はプラグを抜く。次の揺れが、さらに大きい場合もあるので、後片付けはしない。



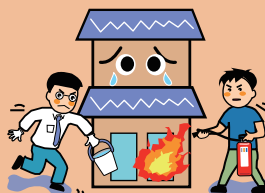
2. 靴またはスリッパを履く  
ガラスの破片などから足を守るため、靴か底の厚いスリッパを履く。



## 5分

隣近所の  
安全確認

1. 近所の初期消火  
119通報。大声で知らせ、消火器、バケツリレーなど協力して初期消火。



2. 隣近所への声かけ  
けが人がいないかなど、安否を確認する。



## 10分

危険な場合は避難  
協力し救出・救護

1. 危険があればすぐに避難  
余震で家屋倒壊、がけ崩れなど危険を感じたら避難する。

2. 救出、救護活動  
みんなで協力して、救出、救護活動をする。

3. 電話は非常連絡を優先  
安易に電話をかけることを避け、家族の安否確認は「災害用伝言ダイヤル」等を活用する。



4. 危険な家には入らない  
倒壊しそうな家には決して入らない。

5. 避難の際の火元の確認  
避難する際は、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とす。

## ■ 高原町で最大となる建物被害（宮崎県の想定）

	液状化		揺れ		急傾斜地崩壊		火災	合計	
	全壊	半壊	全壊	半壊	全壊	半壊	焼失	全壊・焼失	半壊
建物被害	10棟	50棟	20棟	310棟	-	10棟	-	30棟	370棟

(-) はわずかを表します。  
この数値はある程度幅を持ってみる必要があります。

想定はあくまで  
「一つの目安」です！

地震が起こる場所や、地震が起こったときの建物の状況などによって、地震ハザードマップで示す震度が、さらに強くなる場合があります。あくまで一つの目安として考えてください。



# 液状化について

液状化とは、地震動によって地盤が一時的に液体のようになってしまう現象です。高原町の河川近くなどは、液状化現象が起こりやすいと言われる砂質土がゆるく堆積し、地下水位が高いところです。

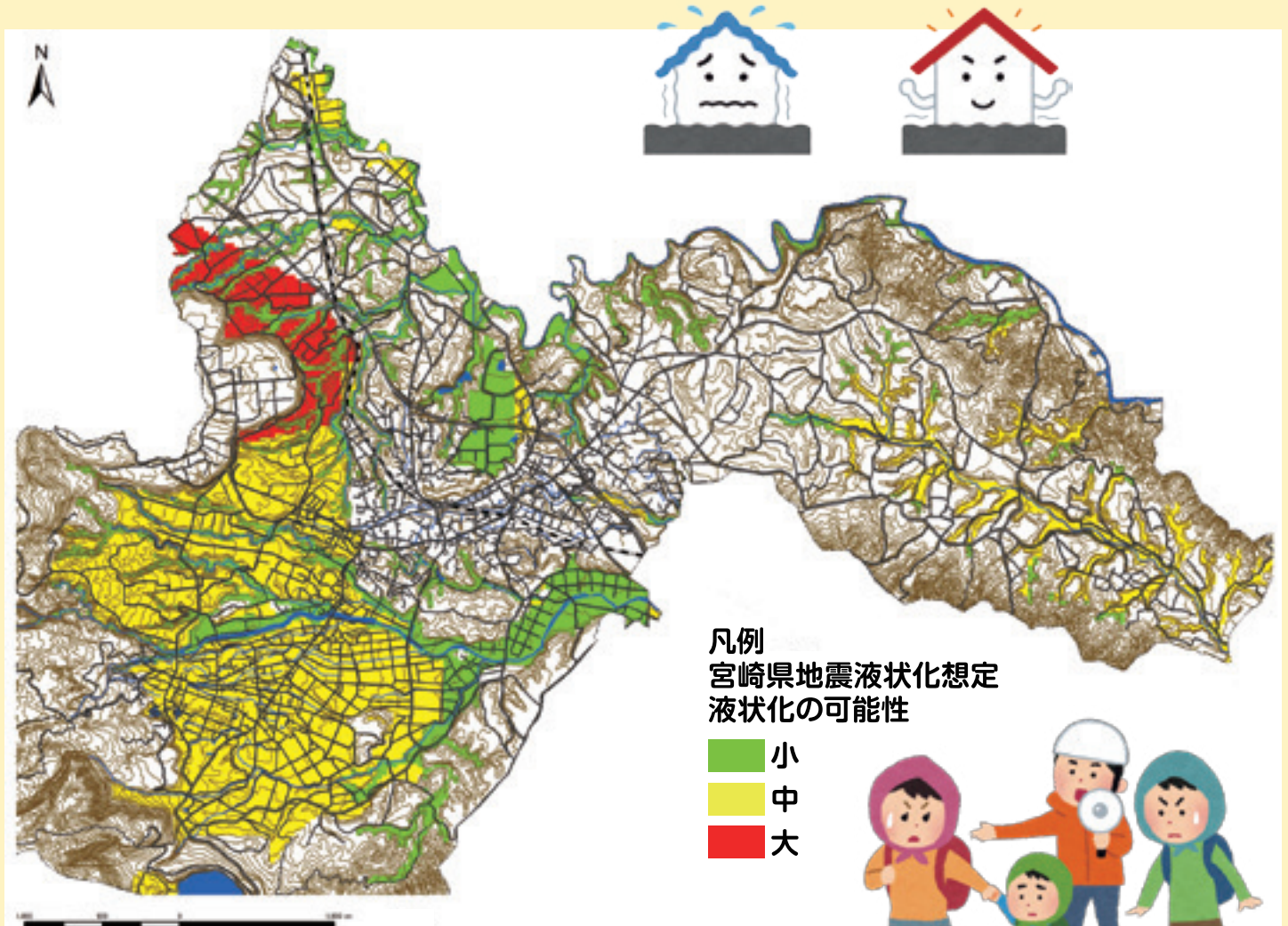
このような地盤に、地震による強い揺れが加わると、砂の粒子間のつながりが崩れて液状化し、建物等の沈下や傾斜が発生したり、地中のマンホールや軽い管路等が浮き上がります。



歩道・街路灯の被害 出典：内閣府ホームページ



宅地の被害 出典：国土交通省ホームページ



# 火災・住宅用火災警報器について

## 火災発生、その時どうする？



### その1 知らせる

- 大声で隣近所に火災の発生を知らせる。
- 声が出なければ、やかんなどを叩き、異変を知らせる。
- 小さな火でも119番通報をする。

### その2 初期消火

- 無理ない範囲で、初期消火を実施する。(消火器を使用して消火)
- 出火から3分以内が消火できる限界。

### その3 避難する

- 火が天井に回る前に避難する。
- 余裕があれば、空気を断つため、燃えている部屋の窓・ドアを閉める。

### その4 みんなで消火

- 消火器、バケツリレーなど近隣で協力して消火を!



設置していますか？  
命を守る住宅用火災警報器



消防法の改正により、みなさんの住宅にも  
住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

- 火災により発生する煙や熱を自動的に感知し、音などにより火災の発生を知らせる機器です。ネジやフックなどで壁などに、ご自分で簡単に設置できます。
- 寝室・階段(寝室が2階以上の場合)に設置する必要があります。台所は設置推奨です。

問合せ先：西諸広域行政事務組合消防本部予防課  
電話番号：0984-23-5537

# 土砂災害について

大きな地震が発生した場合、地震動により、がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)が起こる危険があります。また、まれにですが、降雨が続いた後の地震発生の場合、土石流が発生することもあります。

## がけ崩れ



地面にしみ込んだ雨が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちます。

地震によって起こることもあり、瞬時に崩れ落ちるので逃げ遅れる人も多く被害が大きくなります。

### がけ崩れの前兆

- がけからでてくる水が濁る。
- がけに亀裂が入る。
- 小石がバラバラ落ちてくる。

## 土石流



谷に溜まった土石や、谷の斜面が崩れ、大雨による水と一緒に一気に流れ出して起こります。

主に大雨が原因ですが、地震で崩れた土砂が谷に入り起こることもあります。また、火山の噴火のあと、積もった火山灰に雨が降って起こる土石流もあります。多量の土石が急激に流下し、強大な破壊力をもつため、家屋の全壊や人命の犠牲を伴うことが多いです。

### 土石流の前兆

- 山鳴りや立木の裂ける音、石のぶつかり合う音が聞こえる。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。

## 地すべり



斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によって、ゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。

最初は、1日に数mm程度で目に見えないほどですが、前兆現象を経て、家や田畑、道路など広い範囲が一気にすべり落ち、大きな被害となります。

### 地すべりの前兆

- 斜面に段差、亀裂が生じる。凹地ができる。
- 湧水が濁ったり、湧き方が急に変化する。
- 石積のはらみ、擁壁のヒビ、樹木、墓石等が傾く。
- 戸などの建具の開け閉めが悪くなる。

# 非常用持ち出し品について

非常用持ち出し品は、非常時に持ち出す最低限のものをコンパクトにまとめて、持ち出しやすいところに置きましょう。地震発生後に自宅に取りに戻ったり、準備のために時間をかけることは、危険ですからやめましょう。

## 非常用持ち出し品チェックリスト

家庭では以下のものを備え、定期的にチェックしましょう

### 非常食

(最低3日間程度)

- 乾パン
- 缶詰
- レトルト食品
- 飲料水 (1人1日約3ℓ)



### 貴重品

- 通帳
- 印鑑
- 現金
- 健康保険証



### 生活用品

- 懐中電灯
- ナイフ
- 缶切
- マッチ
- ライター
- ローソク
- ロープ
- 洗面用具
- タオル
- ティッシュ
- ビニール袋



### 医薬品

- いつも飲んでいる薬
- キズ薬
- シップ薬
- 包帯
- 消毒薬
- ばんそうこう
- ガーゼ
- 脱脂綿
- ハサミ
- ピンセット



### 衣類

- 下着
- くつ下
- 手袋
- セーター
- スニーカー



### その他

- ヘルメット
- 防災ずきん
- 毛布
- 携帯ラジオ
- 予備電池
- 育児用品
- 生理用品
- メガネ・コンタクトレンズ



- ※要介護者がいる場合：介護用品、常備品、紙おむつなど
- ※乳幼児がいる場合：粉ミルク、ほ乳びん、紙おむつなど
- ※ペットがいる場合：食料、リード、ゲージ、迷子札など



避難所などで避難生活を送る時に必要な水・食料など生活用品の備蓄は最低でも3日分用意しましょう (推奨は7日分です)。普段の食料を多めにストックし、古いものから順に使っていき、消費したら補充するローリングストック(家庭内流通備蓄)に心がけましょう。

# 自主防災組織について

- 大規模災害時には、救出・救助など行政による支援（公助）には限界があります。
- そこで、災害が起ころうとしても、「自分の身は自分で守る」という“自助”の精神に加え、「自分達の地域は自分達で守る」という“共助”の精神でお互いに助け合い、協力することが大切です。
- この助け合いによって組織された、「自主防災組織」は、地域ぐるみで防災活動を行う集まりのことで、災害時だけではなく、平常時においても防災・減災の観点で活動する重要な働きがあります。
- 「きっと誰かが助けてくれる」ではなく、あなたがまさに防災・減災活動の一員だと自覚し、災害に強い地域づくりをみんなで目指しましょう。

## 平常時

- 防災知識の普及  
（研修会やワークショップなど）
- 避難に支援が必要な人の把握
- 防災訓練の実施  
（初期消火や応急手当など）
- 地域と各家庭での安全点検
- 防災用資機材の点検と整備
- 食料・飲料水の個人備蓄についての普及活動
- 危険箇所の確認



## 災害時

- 災害情報の収集と伝達
- 出火防止及び初期消火（消防署、消防団の到着までの延焼拡大を防ぐのが基本なので無理はしないこと）
- 住民の避難誘導、要配慮者の安全確保
- 負傷者の救出や救護活動  
（救出活動は危険を伴う場合があるため、二次災害に十分注意すること）
- 炊き出し、水・食料などの配布
- 地域内の被害状況を収集し、本部へ報告



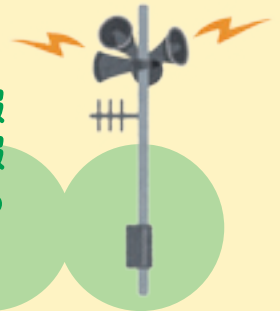


# 避難情報・特別警報について

## 避難情報

災害の発生、または発生の恐れがある場合に、町から避難の情報や指示を出すことがあります。警報が発表されたときや災害の情報があるときなどは、複数の方法で情報収集を行い、危険を感じたら避難しましょう。

避難情報の種類は次の通りです。



避難情報	発令時の状況	町民の皆さんがとるべき行動
避難準備・高齢者等避難開始	・人的被害の可能性が高まった状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や支援が必要な方は、避難を開始しましょう。</li> <li>・上記以外の方は、家族等との連絡、非常持出品の用意等、避難準備を開始</li> </ul>
避難勧告	・人的被害の可能性が明らかに高まった状況	・避難所への避難を開始しましょう。
避難指示(緊急)	・前兆現象の発生、がけの下や隣接地など、人的被害の危険性が非常に高いと判断された状況	・避難していない方は、直ちに避難してください。切迫した状況では、生命を守る最低限の行動をとりましょう。

## 特別警報

大規模な災害の発生が切迫していることを知らせる警報です。情報を確認し、危険な場合はただちに身を守るために最善を尽くしてください。



現象の種類	特別警報の発表基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合 (参考：高原町での50年に1度の値：48時間の降水量689mm、3時間173mm)	
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮		高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

現象の種類	特別警報の発表基準
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合 (大津波警報を特別警報に位置づける)
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 (噴火警報(居住地域)を特別警報に位置づける)
地震(地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける)



気象庁ホームページ特別警報のページ <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tokubetsu-keiho/>

# 防災対策（地震への備え）

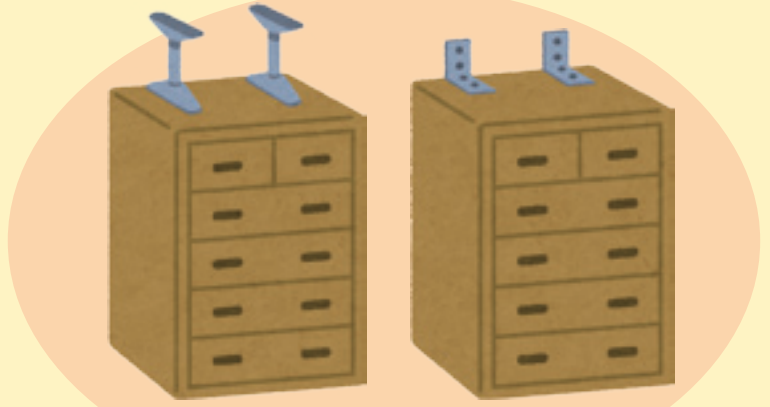
## 家の中の安全確認

### 扉のついた食器棚に



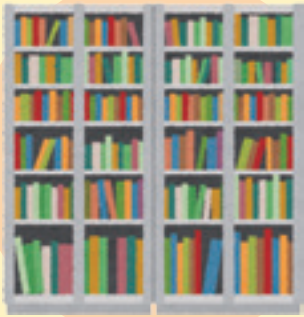
扉の付いた食器棚にし、扉・引き出しに解放防止金具を付けましょう。

### 転倒防止金具を



壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプや天井と家具をつっかえ棒で固定するタイプがあります。

### 収納に工夫を



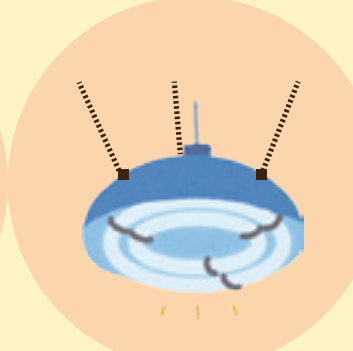
重いものは下に、軽いものは上に収納しましょう。本棚などは、なるべく隙間を作らないようにしましょう。

### 落ちる危険のあるものは置かない



テレビはできるだけ低い位置に固定しておきましょう。家具の上に、落ちる危険のあるものを置かないようにしましょう。

### 照明器具の補強を



天井に直接取り付けるタイプの照明を使用しましょう。吊り下げ式の場合は、鎖と金具を使って数箇所留めて補強しましょう。

### ガラスの飛散防止対策を



飛散防止フィルムを貼りましょう。食器棚などに使われているガラスにも飛散防止フィルムを貼りましょう。

## 家の周囲の安全確認

### 屋根

不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておきましょう。

### ベランダ

植木鉢やエアコンの室外機は配置を変えるか固定しておきましょう。

### 窓ガラス

飛散防止フィルムを貼りましょう。

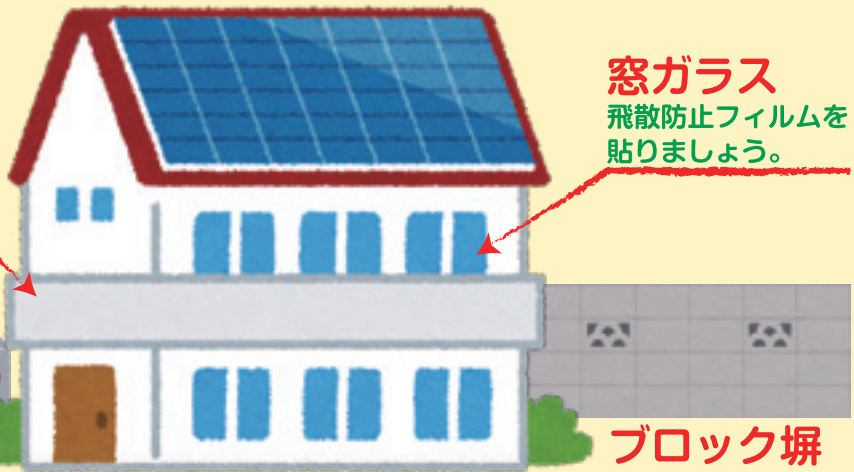
### プロパンガス

ボンベをしっかり鎖で補強しておきましょう。



### ブロック塀

ブロック塀はしっかり点検補強しておきましょう。



# 避難所・避難場所一覧

No.	施設名	所在地	耐震診断	地図
1	花堂むらおこしセンター	高原町大字蒲牟田563-6	○	P13
2	佐土会館	高原町大字広原5414-313	○	P13
3	蒲牟田活性化センター	高原町大字蒲牟田2909	○	P13
4	並木児童館	高原町大字蒲牟田1154	×	P13
5	常盤台活性化センター	高原町大字広原5993-7	○	P13
6	馬登地区公民館	高原町大字西麓1705-1	×	P14
7	出口農業構造改善センター	高原町大字西麓2885	○	P14
8	湯之崎公民館	高原町大字西麓3507-2	×	P14
9	鹿児山農業構造改善センター	高原町大字西麓4401-5	○	P14
10	越農業構造改善センター	高原町大字西麓4274-4	○	P14
11	高原小学校	高原町大字西麓340	○	P16
12	高原中学校	高原町大字西麓709-144	○	P16
13	高原小学校体育館	高原町大字西麓340	○	P16
14	高原中学校体育館	高原町大字西麓709-144	○	P16
15	高原町中央公民館	高原町大字西麓392	×	P16
16	高原町民体育館	高原町大字西麓391-2	×	P16
17	高原町民体育館分館	高原町大字西麓338-2	×	P16
18	高原町教育集会所	高原町大字西麓1552-1	○	P16
19	上広原地区多目的活動施設	高原町大字広原2072-5	○	P17
20	下広原構造改善センター	高原町大字広原3432	○	P18
21	下広原公民館	高原町大字広原3595-2	×	P18
22	西広原活性化センター	高原町大字広原644-4	○	P17
23	広原小学校	高原町大字広原1472	○	P17
24	広原小学校体育館	高原町大字広原1472	○	P17
25	北狭野神武ふるさと館	高原町大字蒲牟田192-5	○	P19
26	祓川神楽殿	高原町大字蒲牟田6421	○	P19
27	湯之元集落センター	高原町大字蒲牟田4901-2	○	P20
28	中平公民館	高原町大字蒲牟田5179	○	P20
29	南狭野活性化センター	高原町大字蒲牟田5697-10	○	P19
30	小塚公民館	高原町大字蒲牟田3707	○	P20
31	狭野小学校	高原町大字蒲牟田5543	○	P20
32	狭野小学校体育館	高原町大字蒲牟田5543	○	P20
33	上後川内地区多目的活動施設	高原町大字後川内2903	○	P21
34	上後川内公民館	高原町大字後川内1696-2	×	P21
35	下後川内多目的集会施設	高原町大字後川内4203-1	○	P22
36	川平多目的研修集会施設	高原町大字後川内5623-3	×	P21
37	後川内小学校	高原町大字後川内2666	○	P21
38	後川内小学校体育館	高原町大字後川内2666	○	P21
39	後川内中学校	高原町大字後川内2651	○	P21
40	後川内中学校体育館	高原町大字後川内2651	○	P21
41	高原町総合保健福祉センターほほえみ館	高原町大字西麓360-1	○	P16
42	高原町中央運動公園	高原町大字広原4952-127	○	P15
43	高原町総合運動公園	高原町大字西麓709-9外	○	P16

※高原町総合保健福祉センターほほえみ館は、福祉避難所として指定しています。  
 ※耐震診断の(×)印は、建物の耐震診断が未実施です。地震後に、大きな本震がある場合がありますので、屋外での避難、あるいは近接の避難所へ避難しましょう。

# 高原町地震ハザードマップ



広原小学校区  
地震ハザードマップ  
(P17~18)

高原小学校区  
地震ハザードマップ  
(P13~14)

後川内小学校区  
地震ハザードマップ  
(P21~22)

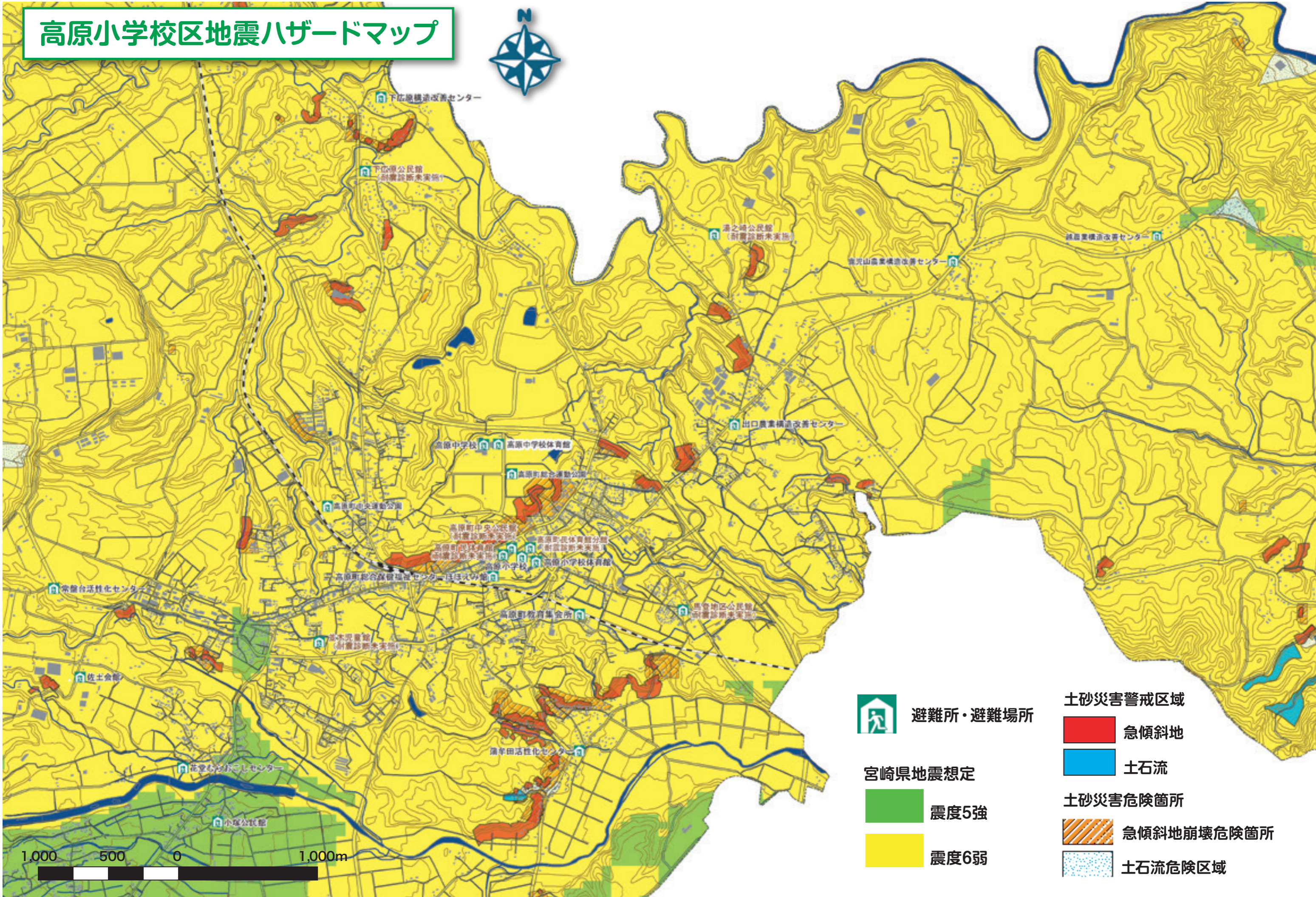
中心部拡大  
地震ハザードマップ  
(P15~16)

狭野小学校区  
地震ハザードマップ  
(P19~20)



宮崎県地震想定  
■ 震度5強  
■ 震度6弱  
- - - 市町境界







# 高原小学校区地震ハザードマップ

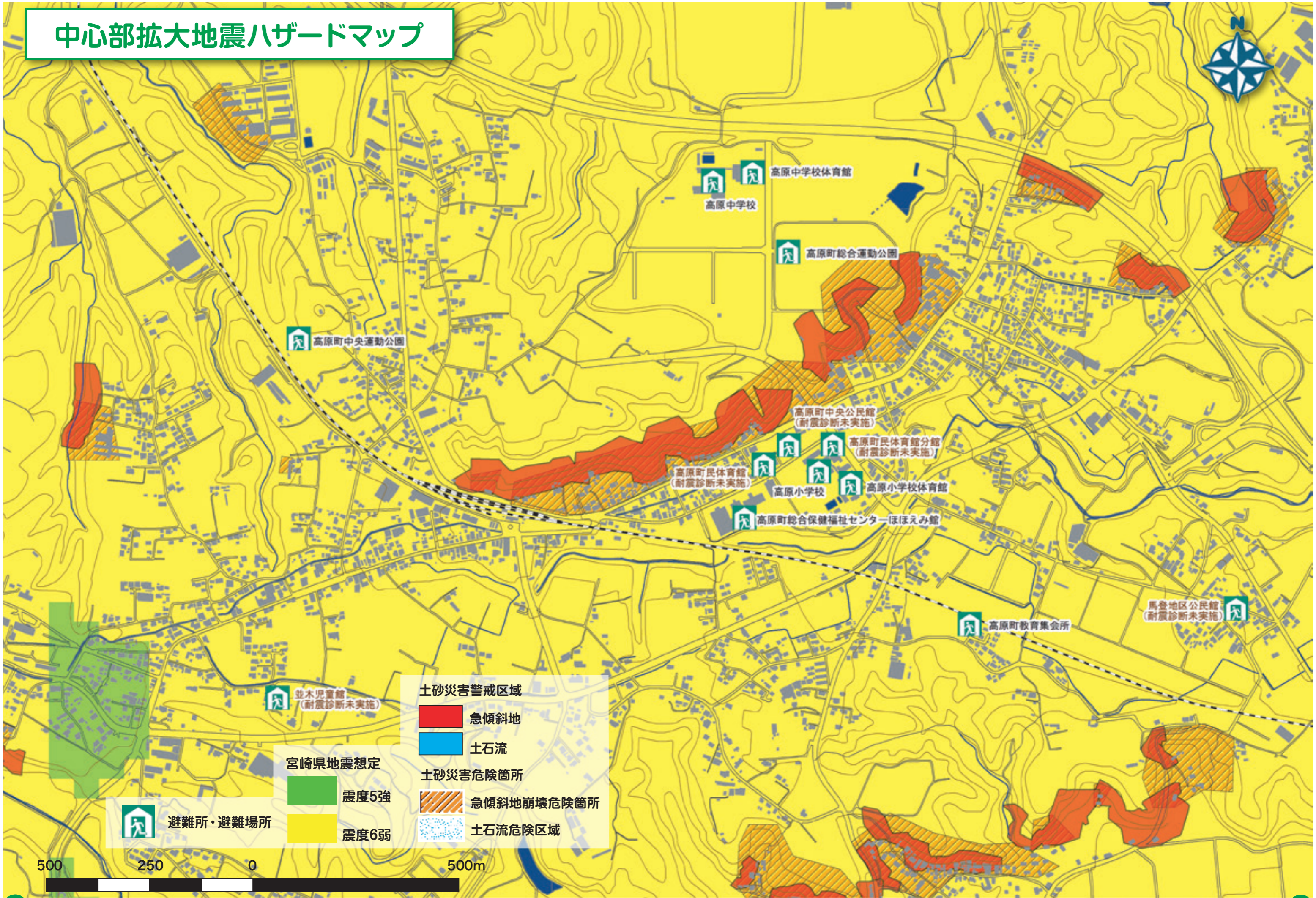


 避難所・避難場所

宮崎県地震想定  
 震度5強  
 震度6弱

土砂災害警戒区域  
 急傾斜地  
 土石流  
 土砂災害危険箇所  
 急傾斜地崩壊危険箇所  
 土石流危険区域

# 中心部拡大地震ハザードマップ



高原町中央運動公園

高原中学校  
高原中学校体育館

高原町総合運動公園

高原町民体育館  
(耐震診断未実施)

高原町中央公民館  
(耐震診断未実施)

高原町民体育館分館  
(耐震診断未実施)

高原小学校

高原小学校体育館

高原町総合保健福祉センターほほえみ館

高原町教育集会所

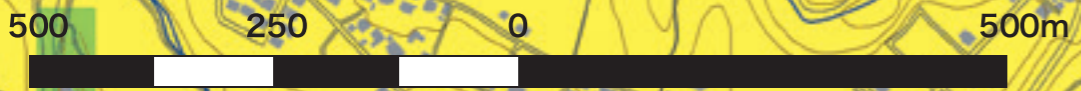
馬登地区公民館  
(耐震診断未実施)

並木児童館  
(耐震診断未実施)

宮崎県地震想定  
震度5強  
震度6弱

避難所・避難場所

土砂災害警戒区域  
急傾斜地  
土石流  
土砂災害危険箇所  
急傾斜地崩壊危険箇所  
土石流危険区域



# 広原小学校区地震ハザードマップ



 避難所・避難場所


宮崎県地震想定

 震度5強

 震度6弱

土砂災害警戒区域

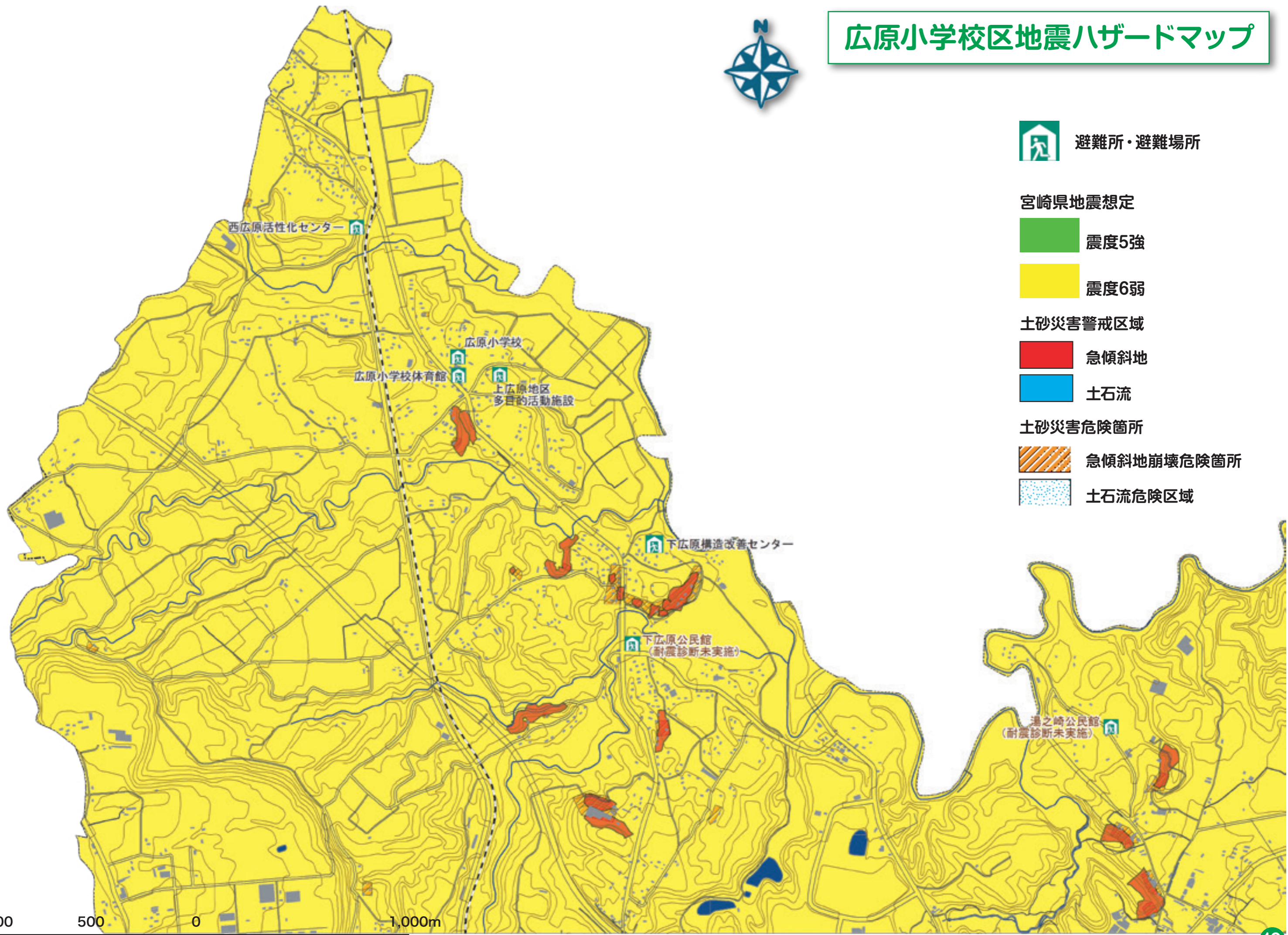
 急傾斜地

 土石流

土砂災害危険箇所

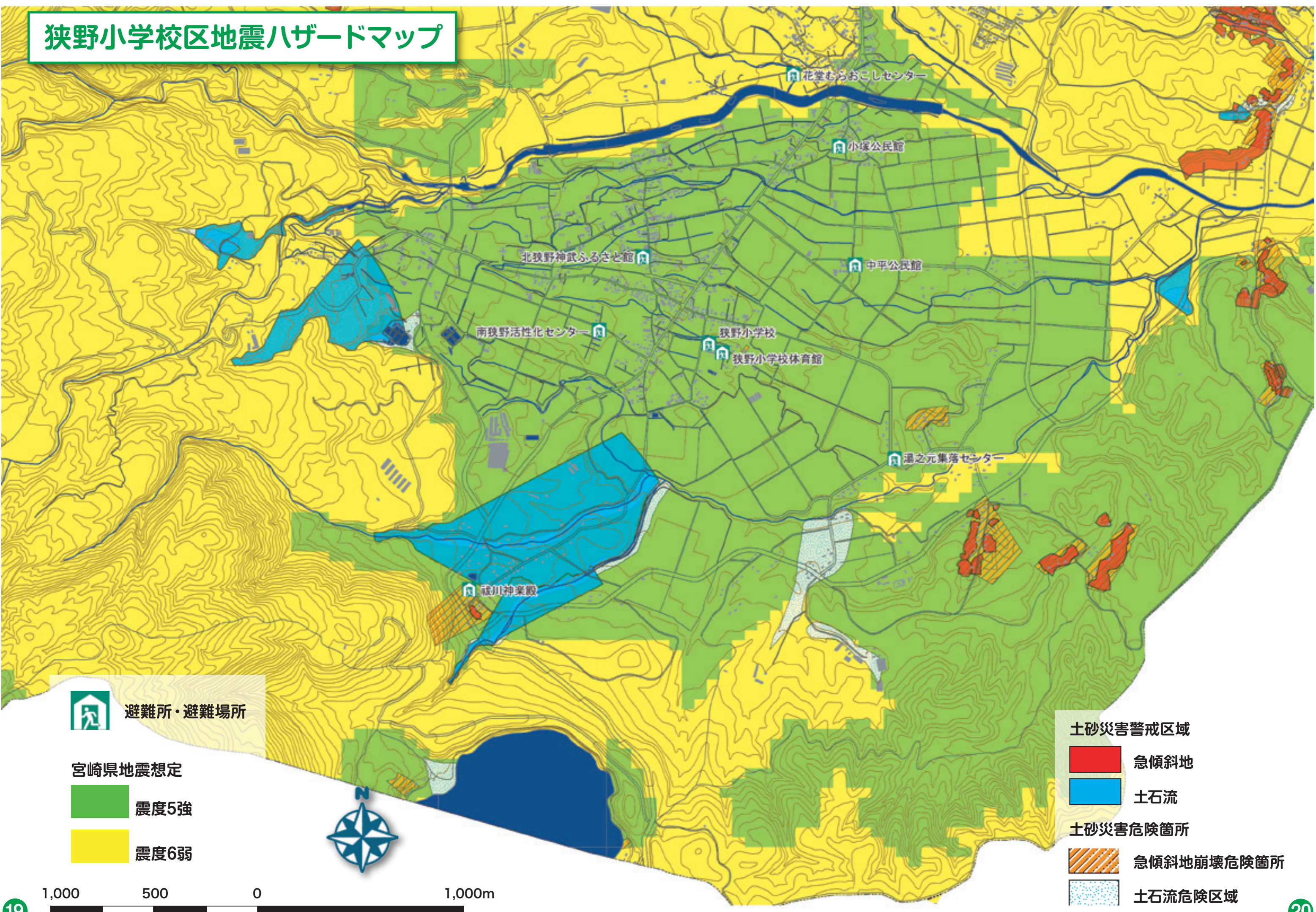
 急傾斜地崩壊危険箇所

 土石流危険区域



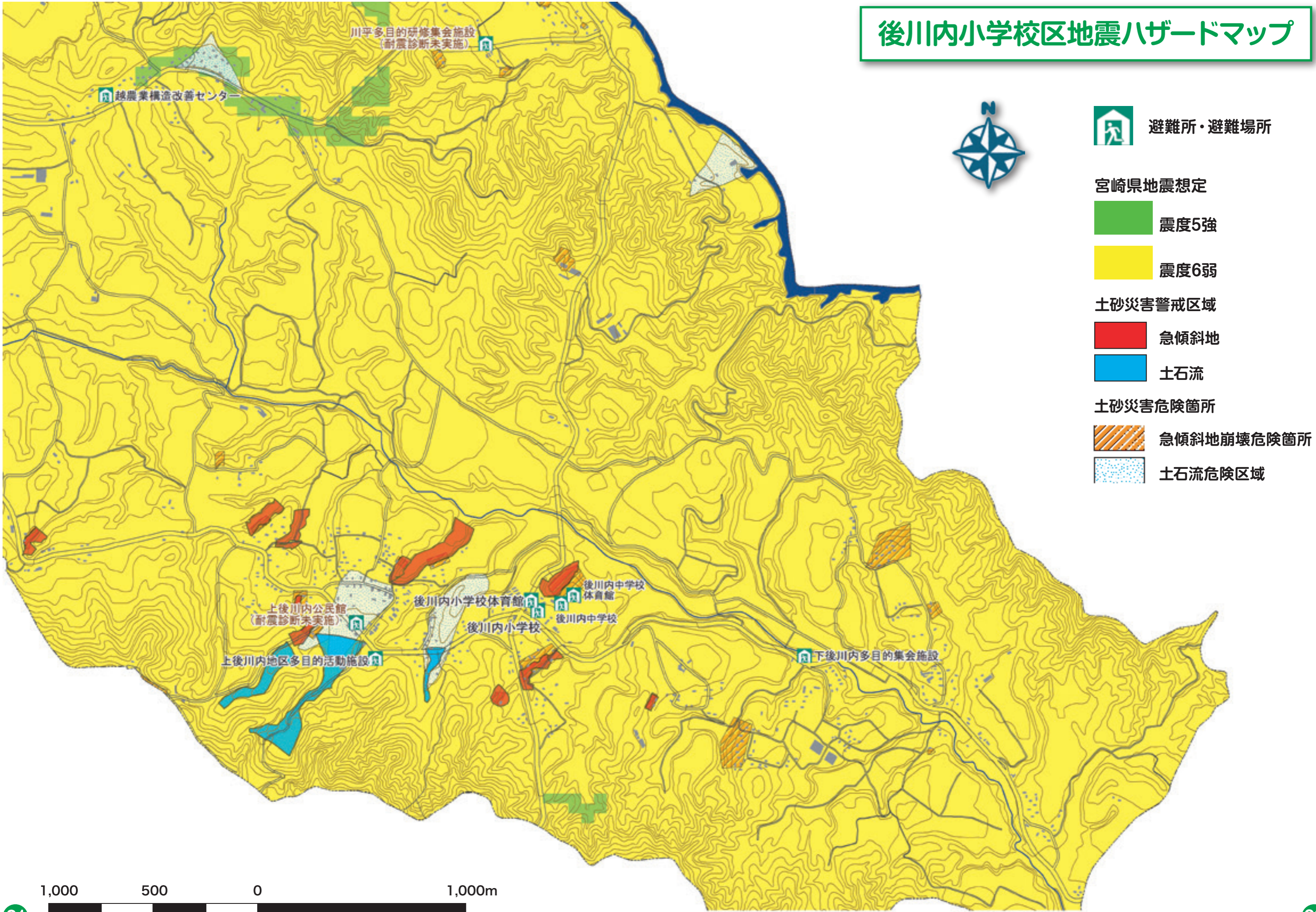
1,000 500 0 1,000m

# 狭野小学校区地震ハザードマップ





# 後川内小学校区地震ハザードマップ



# 我が家の防災メモ

## 災害時の安否確認・伝言

災害発生時は電話が殺到し、被災地域内では電話がつながりにくくなり、安否確認などに支障が発生する場合があります。その時に活用できる、電話会社・携帯電話会社の「災害用伝言ダイヤル」「災害用伝言版」「災害用音声お届け」等のサービスを確認しておきましょう。

詳細は下記のホームページでご確認ください。

## NTT・NTTdocomo

「災害用伝言ダイヤル(171)」 <https://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

「災害用伝言板(web171)」 <http://www.ntt-west.co.jp/dengon/web171/>

「災害用音声お届け」 [http://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/disaster\\_voice/](http://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/disaster_voice/)

## a u

「災害用伝言板」 <http://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/>

「災害用音声お届け」 <http://www.au.com/mobile/anti-disaster/onsei-otodoke/>

## Soft Bank

「災害用伝言板」・「災害用音声お届け」 <http://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/>  
なお機種により利用方法が異なる場合、事前にアプリを登録するものもありますので確認が必要です。

## 緊急速報メール

NTTdocomo、a u、Soft Bankの「緊急速報メール」を利用し、気象庁の緊急地震速報、特別警報、各市町村の避難情報などの災害情報を携帯電話、スマートフォンへ配信します。事前の登録は必要ありませんが、対応機種かどうかは各社のホームページ等で確認が必要です。また、ご自身がその時いる場所によって配信されるサービスが異なります。

## 緊急連絡先一覧

### 火災・救急・救助／119番

### 事件・事故／110番

役 場	高原町役場	0984-42-2111
消 防	西諸広域行政事務組合消防本部	0984-23-0119
	中央消防署高原分遣所	0984-42-1373
警 察	小林警察署	0984-23-0110
	高原駐在所	0984-42-1041
電 力	九州電力都城営業所コールサービスセンター	0120-986-705
かかりつけ病院等 (右欄にご記入ください)		

## ～MEMO～



### お問い合わせ

高原町役場 総務課 〒889-4492 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓899番地

TEL : 0984-42-2111 (代) FAX : 0984-42-4623 E-mail : soumu@town.takaharu.lg.jp